

胆振海岸は、苫小牧港の西側に位置する海岸であり、背後には重要交通網の国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。

当海岸では、海岸侵食や越波による護岸の倒壊、住宅への被害が多発したことから、国では昭和63年度に直轄海岸事業として着手しました。

現在は海岸侵食・越波対策として、人工リーフの整備を進めています。



胆振海岸

人工リーフと白老町市街地

防護機能の向上



人工リーフや緩傾斜護岸（手前）を整備することで波の打ち上げが低くなりました。
（奥は従来の直立護岸）

水産環境面の向上



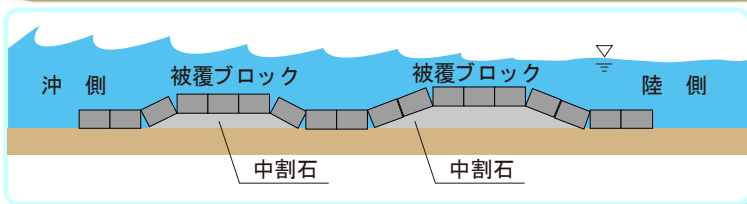
人工リーフの整備により、ナマコ、エソバフンウニなどが生息できる環境も創出されました。

利用面が向上



緩傾斜護岸は波打ちぎわに近づきやすい環境を作り出し、地域に暮らす人々が利用する光景が見られるようになりました。

工事の予定



人工リーフ断面図

人工リーフは、海岸に襲来する高波を沖で弱める施設です。近年は、人工リーフ背後の海岸線に砂浜が再生していることが確認されています。



白老工区 人工リーフによる砂浜の再生